

# 関西国際空港の強化に向けた要望書

平成26年9月

関西国際空港全体構想促進協議会

本年9月に開港20周年を迎える関西国際空港は、昨年度、発着回数が13.3万回、外国人旅客数も496万人と開港以来最高を記録し、訪日外国人旅行者数1000万人の達成にも大きく貢献しました。

また、本年4月には、フェデラル エクスプレスの北太平洋地区ハブが開設され、アジアと北米を結ぶ国際航空貨物ネットワークの中核として、大きな役割を果たすことが期待されています。

人口減少・少子高齢化が進むなか、今後もわが国が持続的成長を図っていくためには、東京一極集中から複眼型国土構造への転換を進め、成長著しい東南アジアをはじめとする諸外国との人流・物流をさらに活性化させていくことが必要です。

また、2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」や、それに続く「関西ワールドマスタースゲームズ」の開催を控え、訪日外国人旅行者の受入環境の整備を図ることも急務です。

そのためには、国家の基幹インフラである関空について、コンセッションを通じ、民間の空港運営主体の下で一層の国際競争力の向上と航空需要の喚起を図り、首都圏空港と並ぶ西の国際拠点空港として、積極的に活用していかねばなりません。

地元自治体・経済界としても、引き続き、関空を最大限活用し、関西そしてわが国全体の活性化のために、新関空会社と連携し、関空の中長距離等国际線ネットワークの強化、医薬品や食の輸出をはじめとする国際貨物の取扱機能の強化に全力で取り組んでいく所存であります。

国におかれましては、「日本再興戦略」を推進する観点から、特区制度を活用した関空の物流拠点機能強化や、財務構造の改善と国際拠点空港化に向けたコンセッションの実施に対して、必要な施策・措置を講じていただきますよう、下記のとおり要望いたします。

## 記

1. 関西国際空港が、わが国を代表する国際拠点空港にふさわしい国際競争力を備え、日本経済の活性化に資するものとなるよう、新関空会社が行うLCCターミナルの整備など際内乗継機能の強化や、特区制度等を活用した食や医薬品等のグローバルサプライチェーンの形成の取組みに対し、積極的な支援・協力を行われたい。

2. 2020年の訪日外国人旅行者数2000万人の目標を見据えた観光立国の実現に向け、訪日観光需要が旺盛な国々の観光ビザの緩和の一層の推進をはじめ、出入国審査場における混雑緩和やファーストレーンの設置に対する支援など、アジアのゲートウェイである関空の受入環境の整備・強化を図られたい。

また、本邦航空会社、とりわけLCCの安定就航に向けた操縦士等の養成・確保についても、早急に対策を講じられたい。

3. コンセッションの実施にあたっては、関西国際空港の債務の早期かつ確実な返済と、国際拠点空港としての機能強化が図られるよう、運営権者の選定、運営権対価の設定等について、法に基づき適切に権限を行使されたい。

その際には、関空開港以来構築してきた空港会社と国、地元との協力関係を十分踏まえ、地元に対して必要な情報提供を行うと共に、コンセッション実施後においても、空港運営権者と地元との円滑・良好な関係の維持に努められたい。

4. 関西国際空港のアクセス利便性の向上に向け、大阪都心部と関空を結ぶ高速鉄道等アクセスについて検討を進め、早期整備に向けた取り組みを推進されたい。

また、LCCの就航増加に伴う深夜早朝時間帯の公共交通アクセスの強化や、高速道路のミッシングリンクの解消、海上アクセスなど、関空への利便性向上についても着実に推進されたい。

平成26年9月4日

関西国際空港全体構想促進協議会			
会長	(公社)関西経済連合会会長	森松	詳一
副会長	大阪府知事	井戸	介
〃	兵庫県知事	松井	三
〃	和歌山県知事	仁橋	伸
〃	大阪市	竹下	徹
〃	堺市	久山	身
〃	神戸市	佐藤	造
〃	大阪商工会議所会頭	藤	雄